



2月

ほけんだより



気温が低く乾燥した日が続いています。2月4日は暦の上では立春で春を迎える時期といわれています。一般的には、1月から2月にかけて最も寒くなる時期といわれています。インフルエンザやコロナ感染症など、園収での流行はありませんが、手洗いや咳払いなどをこまめに行い、予防しましょう。17日に行なわれる発表会には、全員で参加したことで、3日の節分には子どもたちと何の鬼も退治したのでしょか？



体を動かして元気に遊びましょう。

なぜ体を動かすことが大切なの？
乳児期は、歩く、走る、回るといった基本的な動作を身につける時期です。この時期に身につけることにより、早産の時に上手に手足つき、頭部打撲を受けずに済みます。外に出てボールを投げたり、三輪車をこいたり、縄とびをしたり、全身を動かして遊びましょう。体を思い通りに動かして遊ぶことにより、食欲増進、体力を養い、夜も睡眠が充分にできる良い循環となります。又、家族やお友達と一緒に遊ぶことにより、心身共に発達を促され、子どもにとっても有意義な時間を過ごすことができます。

爪の点検をお忘れしな
爪が長いと、お友達を傷
ついたりする、長い爪で爪を
噛んだりする、お爪を落とす



爪が伸びたら指しゃぶり

爪が伸びたら指しゃぶりは不安や緊張を自分で処理するために子どもが行なうと言われています。無理にやめさせると、今度は自分の髪の毛を抜くなど、別の行動をとることもあつて注意しましょう。子どもが1歳を過ぎても指しゃぶりが続く場合は、だいたい3歳頃までには自然と治ります。成長と共に治ることが多いので、



薬ののせ方

シロップ — 与えられた量の薬を、スポイトやシリンジ（注射器）を用いて取り出し、口に入れます。
粉薬 — 水で溶かす場合は、お湯の水で溶かし、スポーンや小さなお皿などで与えます。



薬をのんだあとに水やさゆを与えたり、食品に混ぜることは、薬師の指示に従ってください。園での内服を依頼する場合は、必ず「回数と量を記入して」持参してください。場合により、与薬が必要な場合もあります。